

6月8日 聖霊降臨

聖霊の賜物

ヨハネによる福音書 20 章 19～23 節

¹⁹ その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちはユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。²⁰ そう言って、手とわき腹とをお見せになった。弟子たちは、主を見て喜んだ。²¹ イエスは重ねて言われた。「あなたがたに平和があるように。父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす。」²² そう言ってから、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。²³ だれの罪でも、あなたがたが赦せば、その罪は赦される。だれの罪でも、あなたがたが赦さなければ、赦されないまま残る。」

他の朗読：使徒 2:1～11 詩編 104:1, 24, 29～31, 34 I コリント 12:3～7, 12, 13

Lectio …読む

今日私たちが祝うのは、聖霊降臨（復活の主日の 50 日後の出来事）ですが、今日の福音朗読は、イエスが死から復活したまさにその日の聖霊との出会いに焦点をあてています。

イエスの死から 3 日たちました。弟子たちはユダヤ人を恐れて、家の戸に鍵をかけて隠れて目立たないようにしていました。

続いて朗読は、復活したイエスが告げたことと、行ったことを述べます。イエスは「あなたがたに平和があるように」（ユダヤ人の間では、通常の挨拶の言葉）と言って弟子たちに挨拶します。イエスはご自分の苦しみの体験や、弟子たちがイエスの逮捕後にご自分を見捨てたという事実については何も触れません。

それからイエスは手とわき腹を弟子たちに見せます。そこには十字架に架けられた、目に見える証拠があります。彼の復活した体は苦しみの痕がありました。おそらく、イエスはご自分が本物であるということを見せたかったのでしょう。変化してはいるが、それでも同じだということ。イエスの傷痕は、彼が幽霊でないことを明らかにしていました。生きたイエスが、弟子たちの真ん中に立っていたのです。

それから、御父からいただいたイエスの使命を受け継ぐ権能と、弟子たちの使命が続きます（21 節）。驚くことに、説教するためよりも、むしろ罪の赦しをもたらすために弟子たちは派遣されるのです。悔い改めと赦しを通して神と和解することは、正に福音書の真髄です。

プロテスタント教会では異なる解釈がなされますが、カトリック教会にとって 21 節は、告白された罪を赦す教会の権能の基盤とされています。イエスは、教会が赦しの秘跡をどのように組織するかは述べません。教会が定めることになっている典礼の指示もありません。イエスは、教会が人々の罪を赦すならば、神も赦し、もし教会がこの赦しを拒否するなら神もまたその罪を赦さないだろうとだけ言っています。

長い歴史を通して、教会はこの秘跡を色々方な方法で行ってきました。しかし、いつでもそれは、赦しを必要としている個々人に教会を通して与えられる、神の賜物なのです。

この権能を与える前に、イエスは弟子たちに息を吹きかけて「聖霊を受けなさい」と言います。ですから、この権能は聖霊の力と導きを通してのみ行われるべきなのです。

Meditatio …黙想する

弟子たちが世の中の好奇の目から逃れ、隠れている状況を思い描いてみましょう。彼らは恐れていました。恐れの中で、突然イエスが部屋の中に立っていたのです。弟子たちにとってのこの出会いの意味を考えてみましょう。

イエスが聖霊を授けるために弟子たちに息を吹きかけたことと、神が天地創造のとき人間に生命を吹き込んだこと（創世記 2 章 7 節）との対応についてよく考えてみましょう。

イエスが罪を赦す権能を教会に与えたことについて、どのように感じますか。

Oratio … 祈る

あなたが罪への赦しを求めるとき、おそらくは赦しの秘跡の中で、聖霊がその愛情に満ちた光をあなたの心の中に輝かせ、あなたを導いてくれるように願いましょう。ヨハネ 1 章 9 節の言葉は、あなたに励ましを与えるでしょう。

「自分の罪を公に言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、罪を赦し、あらゆる不義からわたしたちを清めてくださいます。」(9 節)

神を喜ばせる生き方ができるよう、聖霊に助けを願いましょう。

Contemplatio … 観想する

使徒言行録 2 章 1 ～ 11 節を読み、聖霊が力を持って弟子たちの上にやってきて、一日のうちに何千人もの人々が教会に加えられた光景を想像してみましょう。

そして I コリント 12 章を読んで、今日のあなたの生活の中での聖霊の働きをよく考えてみましょう。